

商業・貿易・金融

卸売・小売業(事業所数、従業者数等)

平成28年6月1日現在の卸売業の事業所数は3,302事業所、従業者数は2万5,629人、年間商品販売額は1兆8,711億円となっています。

また、卸売業の従業者数を業種別にみると、飲食料品卸売業が7,155人(構成比27.9%)で最も多くを占めています。

一方、小売業の事業所数は、1万2,922事業所、従業者数が9万3,666人、年間商品販売額は1兆9,126億円となっています。

また、小売業の従業者数を業種別にみた場合、飲食料品小売業が3万5,313人(構成比37.7%)で最も多くを占めています。

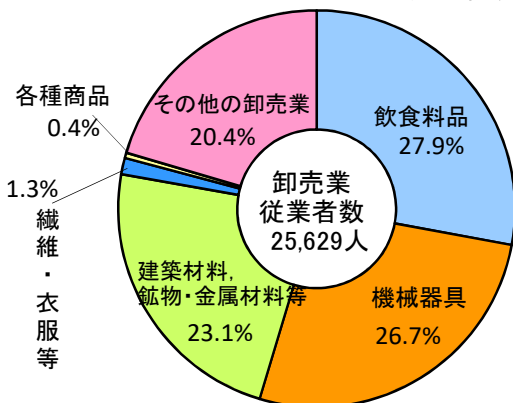
業種別年間商品販売額

平成27年の年間商品販売額を業種別にみると、卸売業は建築材料、鉱物・金属材料等卸売業5,187億円(構成比27.7%)で最も多く、次いで機械器具卸売業5,096億円(構成比27.2%)、飲食料品卸売業4,603億円(同24.6%)と続いています。

小売業は、飲食料品小売業が5,523億円で小売業年間商品販売額の28.9%を占めており、次いで機械器具小売業4,185億円(構成比21.9%)などとなっています。

図35 卸売業の従業者数の産業分類別構成

平成28年6月1日現在



資料 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

図37 卸売・小売業の年間商品販売額の産業分類別構成

平成27年

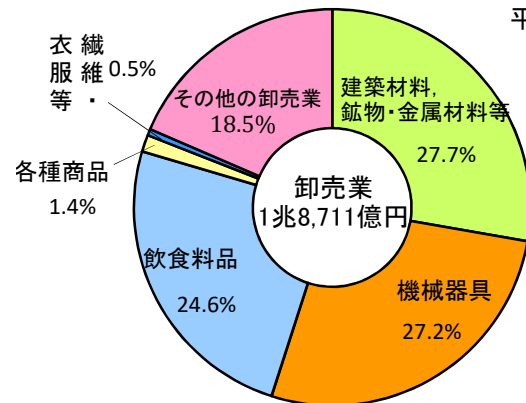
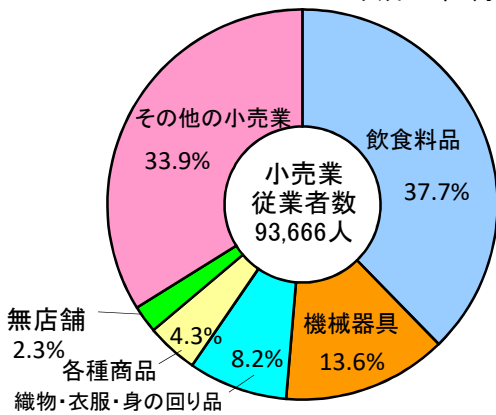


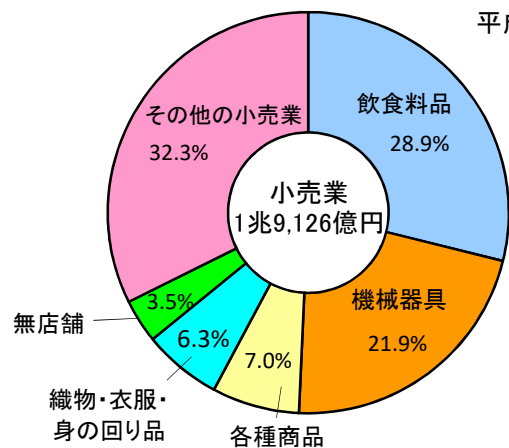
図36 小売業の従業者数の産業分類別構成

平成28年6月1日現在



資料 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

平成27年



資料 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

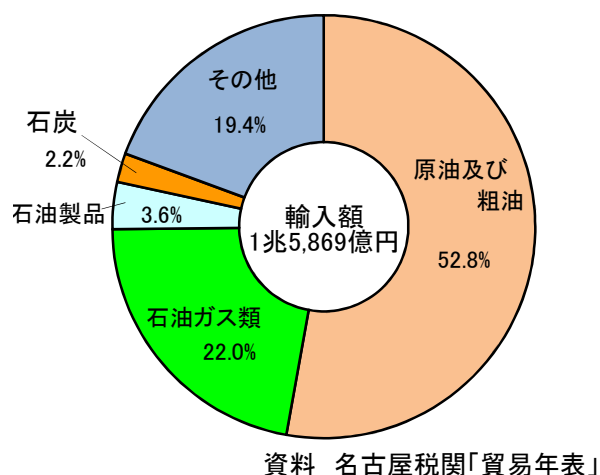
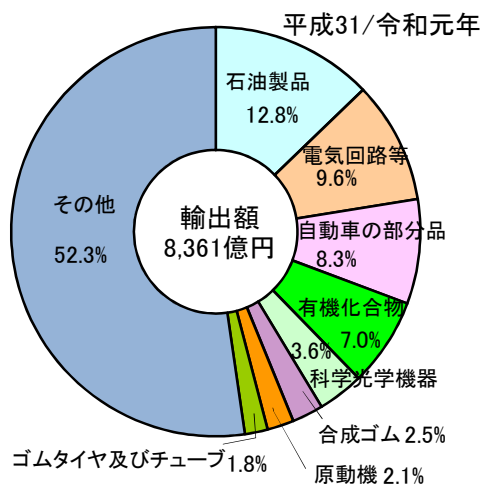
貿易

輸出・輸入ともに本県の大半を占める四日市港の平成31/令和元年の貿易状況をみると、輸出額は8,361億円で前年に比べ3億円(0.04%)減少し、輸入額は1兆5,869億円で前年に比べ1,320億円(7.7%)減少しました。

品目別でみると、輸出は石油製品1,070億円(構成比12.8%)で最も多く、次いで電気回路等の機器806億円(同9.6%)、自動車の部分品692億円(同8.3%)の順となっています。

輸入は原油及び粗油が8,385億円(構成比52.8%)で最も多く、次いで石油ガス類3,486億円(同22.0%)、石油製品572億円(同3.6%)の順となっています。

図38 四日市港の品目別貿易状況



金融、企業倒産

令和2年3月31日現在の預貯金残高は、15兆3,941億円となり、前年に比べ2,348億円(1.5%)増加しました。貸出残高は、5兆2,292億円となり前年に比べ683億円(1.3%)増加しました。

令和2年の企業倒産件数は66件となり、前年に比べ2件(2.9%)減少しました。負債総額は141億円となり20億円(16.4%)増加しました。

図39 預貯金・貸出残高の推移

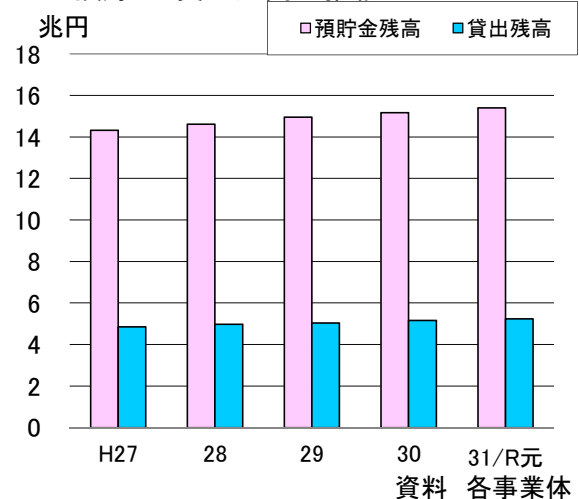


図40 企業倒産状況の推移

